

報道関係者各位

株式会社コンピュータ・ニュース社

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-18-14本郷ダイヤビル6F

TEL 03-4236-5217 (直通) FAX 03-3818-3006

本件に関するお問い合わせは下記をお願いします。

BCN総研 北村 憲正

<http://www.computernews.com/marketview>

2001年第3四半期(7~9月)のPC店頭販売 前年同期を二桁下回る

BCN総研は、東名阪のパソコン大手販売会社13社(エイデン、大塚商会、ランド、グッドウィル、コンプ100満ボルト、コンプマート、CSKエレクトロニクス=T・ZONE、上新電機、スタンバイ、ソフマップ、九十九電機、ビックピーカン、ニノミヤ、ワンダーコーポレーション=50音順)562店舗(2001年4月1日現在)の日次販売データをデイリーで収集し配信するBCNランキングを公表しています。このデータをもとに、PCリテール市場の動向を分析したニュース配信を行っています(毎月第2、第4金曜日の発行となります)。

株式会社コンピュータ・ニュース社(本社:東京都文京区、代表取締役社長 奥田喜久男)の市場調査部門であるBCN総研は、2001年第3四半期の国内店頭市場におけるPCの販売台数は、前年同期比12.5%減の112万台であったと発表した。Windows XP発売前で買い控えの影響が大きく、夏季商戦が不調に終わった影響が色濃くあらわれた。2001年第4四半期は、Windows XP搭載PCの発売、ADSL接続の普及などが牽引役となり市況はやや回復するものの、前年同期比7.2%減の141万台となる見通しだ。

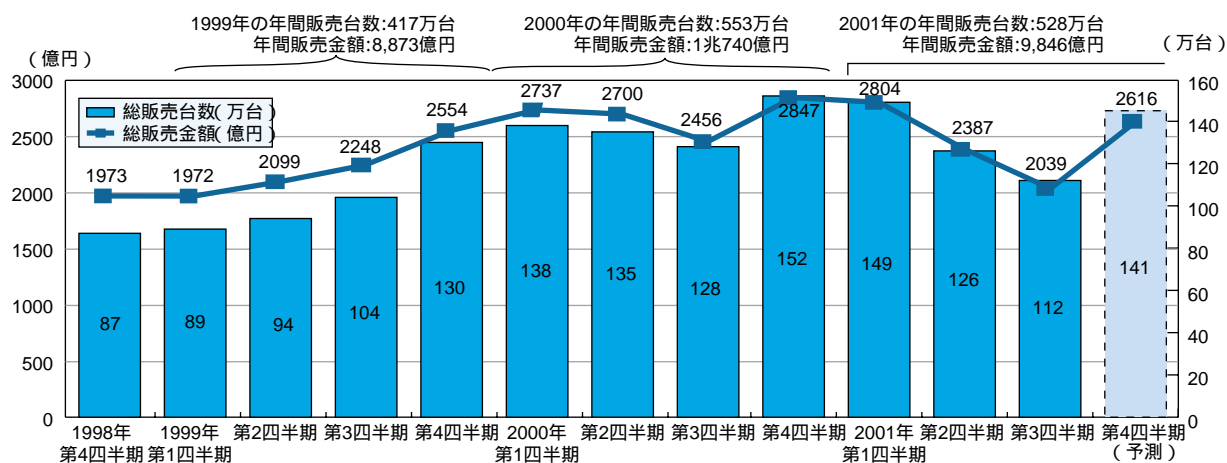
(問合せ先 BCN総研・北村 憲正)

国内店頭市場における2001年第3四半期(7月~9月)のPCの販売台数は、前年同期比12.5%減の112万台となった。一方、金額ベースでは、16.9%減の2,039億円となり台数、金額ともに二桁減と市場が大きく落ち込んだ(図1)。

第3四半期のPC販売が奮わなかった要因としては、11月にWindows XP発売を控えていることで、買い控えの影響が顕著にあらわれていたことが挙げられる。これについてショップでは「Windows XPの発売を控えていることで、今年の夏季商戦は散々な結果に終わった」、また、「PC本体よりも、デジカメやパーツなどに客が流れていた」との声もあった。ショップだけでなく、大手PCメーカーのPC出荷台数の下方修正や大規模なリストラ計画の発表など、業界全体に漂うマインドの低下も第3四半期の低迷要因といえよう。

2001年第4四半期は、Windows XPの発売で需要が回復することに加えて、ADSL効果で市場はやや上向くと考えられる。だが、経済状況は依然として悪く、年末に向けた個人消費の低迷が懸念される。そのため、前年同期比の実績をやや下回る7.2%減の141万台、金額ベースでも8.1%減の2,616億円にとどまる見通しだ。

図1 PCの四半期別総販売台数・金額（国内店頭市場）



* 本リリースについて、今後メールでの配信をご希望の方がいらっしゃれば、対応させていただきます。北村までご連絡下さい (kitamura@bcn.co.jp)。